

<第115回調査>

2018年12月25日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2018年12月11日(火)13:00～2018年12月18日(火)13:00
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層。

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。
今回の有効回答数は696件。
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

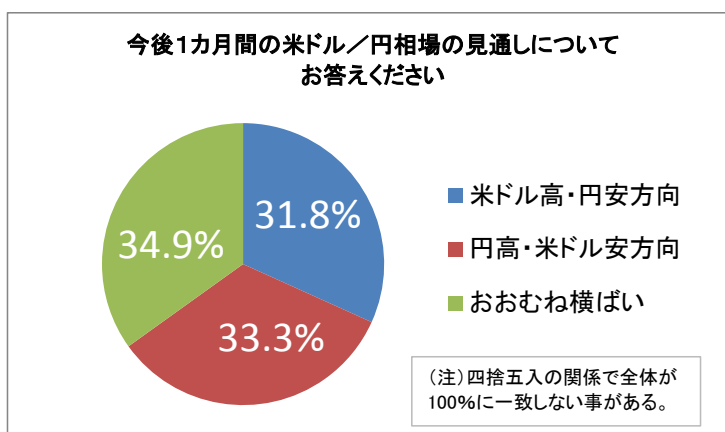
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第115回調査結果略報：個人の損益状況はやや悪化】

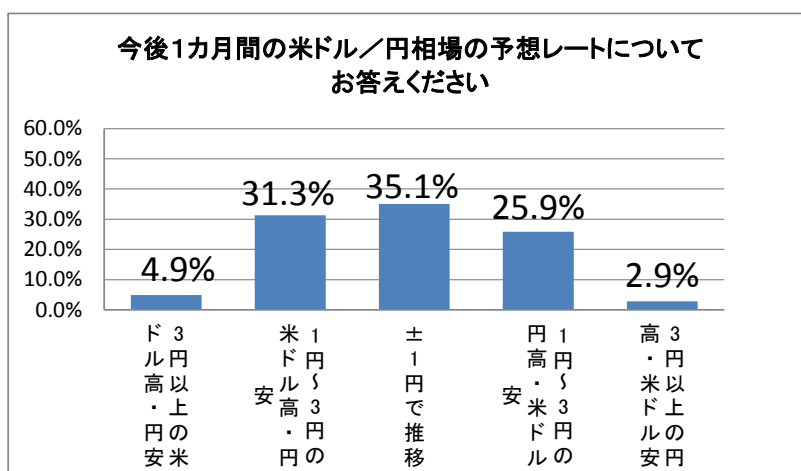
問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「米ドル高・円安方向」と答えた割合が31.8%であったのに対し「円高・米ドル安方向」と答えた割合は33.3%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は▼1.5%ポイントと10カ月ぶりに弱気見通しを示すマイナス圏に転落したが、マイナス幅は小さく、ほぼ「中立」と言える水準だった。調査期間中の米ドル/円は、113.70円前後へ上昇するも112.50円前後まで反落するなど、小幅な値動きながらも上値が重い展開であった。米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ打ち止め観測が浮上するなど、世界的な景気減速に対する警戒感が広がる中、個人投資家の米ドル/円相場見通しは前月（△20.7%ポイント）の「強気」から「中立」へとシフトした模様。※過去の米ドル/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「±1円で推移」が35.1%で最も多かった。続いて、「1円～3円の米ドル高・円安(31.3%)」、「1円～3円の円高・米ドル安(25.9%)」、「3円以上の米ドル高・円安(4.9%)」、「3円以上の円高・米ドル安(2.9%)」という順になった。ヒストグラムの形状は中心部が高いピラミッド型となっており、見通しが「上昇」「下落」「横ばい」で分かれた問1の結果と整合的だろう。いずれにしても、個人投資家は年末年始の米ドル/円相場が大きく変動するとは見ていないようだ。

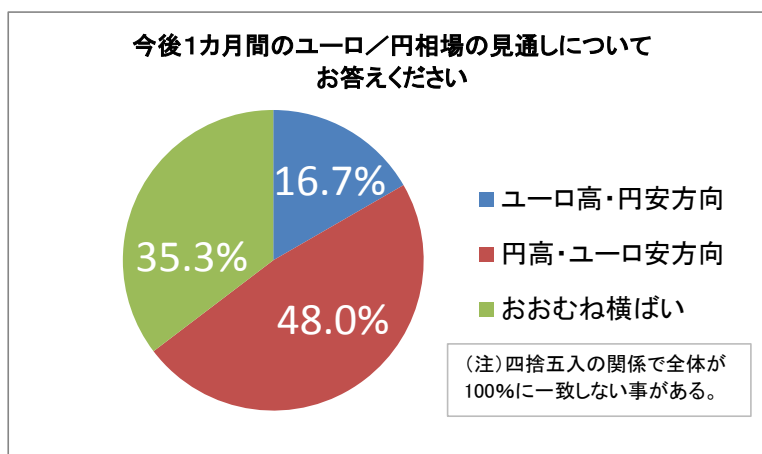


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

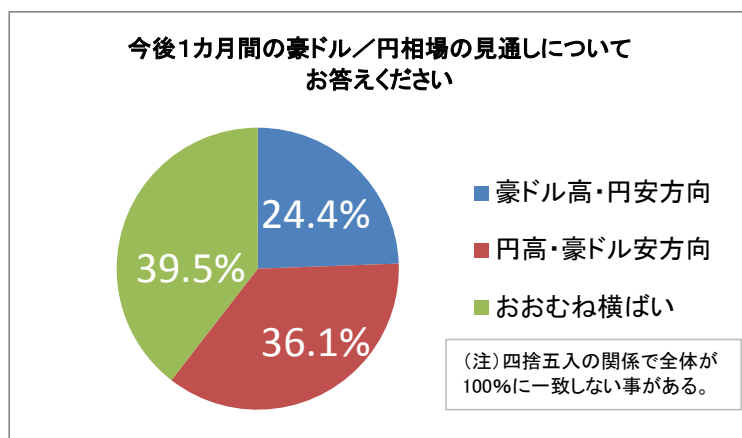
問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が16.7%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合は48.1%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は▼31.3%ポイントとなり、5カ月続けてマイナスDIを記録。マイナス幅は2017年4月以来、20カ月ぶりの大きさとなった。調査期間中のユーロ/円相場は127円台後半から129円台前半でもみ合いながら、概ね過去1カ月のレンジ内で推移した。イタリア財政問題や、フランスの「黄色いベスト」デモなど、政治面への不安がユーロ相場の先安感に繋がっているのだろう。
 ※過去のユーロ/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が24.4%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は36.1%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は▼11.7%ポイントとなり、再びマイナス圏に転落した。調査期間中の豪ドル/円は、82.20円台に上昇する場面もあったが、80.80円台に押し戻されるなど上値が重かった。世界的な景気減速懸念が広がり、主要国の株価が軟調に推移する中、個人投資家の豪ドル弱気・円強気の姿勢が浮き彫りになった格好だ。
 ※過去の豪ドル/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



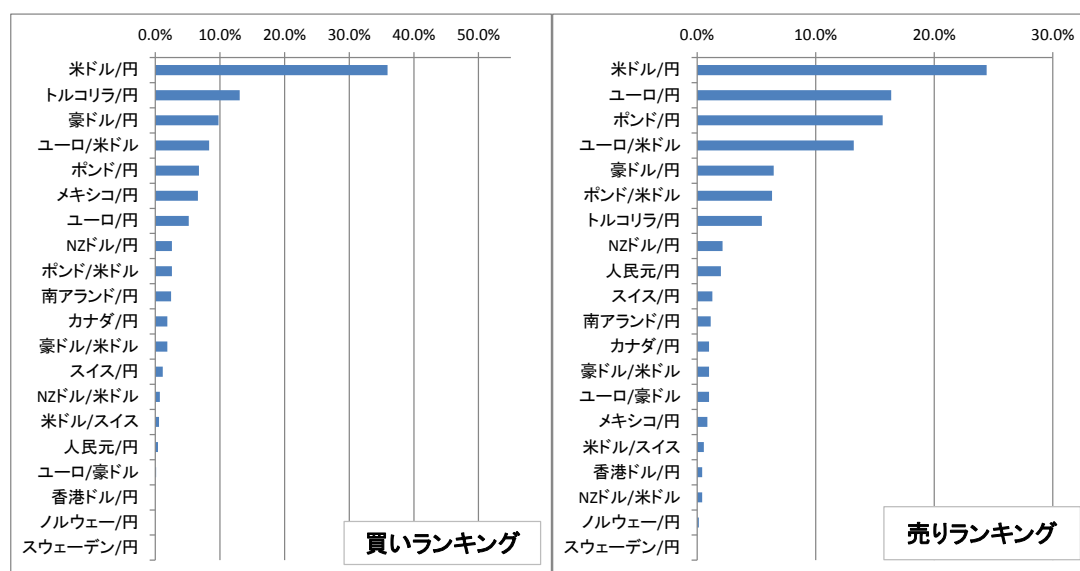
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が75カ月連続で首位の座をキープ。ただ、回答割合は前回(43.4%)から35.9%に低下した。大差でトップを維持したとはいえ、米ドル/円の上昇期待が薄れつつあるようにも見える。続く2位にはトルコリラ/円(13.1%)、3位豪ドル/円(9.8%)、4位ユーロ/米ドル(8.3%)、5位ポンド/円(6.8%)となり、順位は前回から変動がなかった。

一方、「売り」で注目の通貨ペアは、こちらも米ドル/円が24.4%の回答割合を集めて首位をキープ。以下、2位にユーロ/円(16.4%)、3位ポンド/円(15.7%)、4位ユーロ/米ドル(13.2%)、5位豪ドル/円(6.5%)と続いた。順位的面では、前回23.7%の回答割合で2位に付けたユーロ/ドルが4位に後退。ユーロ/円とポンド/円がそれぞれひとつずつ順位を上げた。米ドル/円、ユーロ/円、ポンド/円と、円絡みの通貨ペアが上位に固まったところを見ると、個人投資家の目線が円高に傾き始めたと言えるのかもしれない。

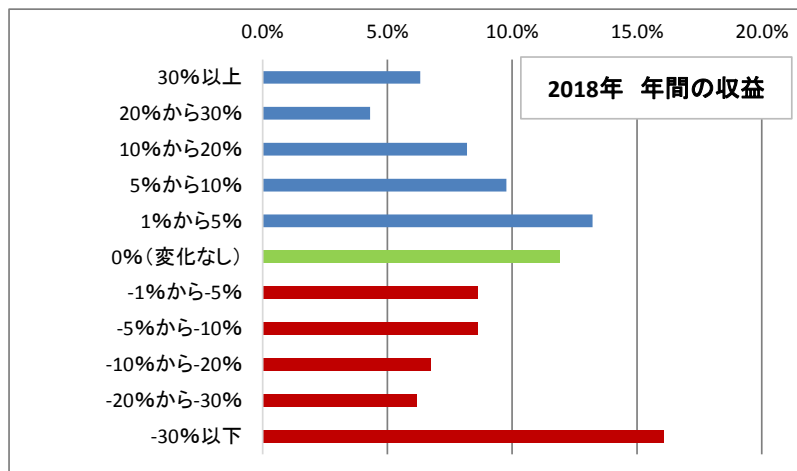


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6:2018年1月から12月までの損益状況について、投資資金の何%となっていますか。(例:100万円の投資資金が110万円になった場合10%)また、損益について最大の要因は何だと思われるか、コメント欄にご記入ください。

今回の特別質問として、「2018年1月から12月までの損益状況について、投資資金の何%となっていますか」と尋ねたところ、「-30%以下」と答えた割合が16.1%で最も多かった。次いで「+1から+5%(13.2%)」、「±0%(11.9%)」、「+5%から+10%(9.8%)」、「-1%から-5%(8.6%)」、「-5%から-10%(8.6%)」、「+10%から20%(8.2%)」の順となった。トータルで「利益(プラス回答)」の割合は全体の41.8%であった一方、「損失(マイナス回答)」割合は46.3%となり、僅かに「損失」が多かった。なお、昨年の同時期の調査では「利益」が41.6%、「損失」が41.1%であった。今回の「損益」について最大の要因は何か、との質問に対しては、「利益」組の中でも+20%以上と答えた向きからは、「トルコリラの逆張り(買い)」「ポンドのボラティリティの大きさ」など、相場の大規模変動(による値幅効果)を理由に挙げる声が多かった。また、+10%以下の「利益」組からは「ドル/円の値幅が小さかったので利益も小さかった」との趣旨の回答が目立った。一方、-10%以下の「損失」組からは「トランプ米大統領の不規則発言」を理由とする声が多かった他、「損切りの決断が遅れた」との回答もあった。また、-20%超の「損失」組は「トルコリラの暴落」を挙げる向きが圧倒的に多かった。結果的に、大きく利益を出したのも大きく損失を出したのも、トルコリラやポンドなどの高ボラティリティ通貨の取引であった事がわかる。こうした通貨を取引するに当たっては、リスク管理の巧拙がカギとなる事も改めて浮き彫りになった。

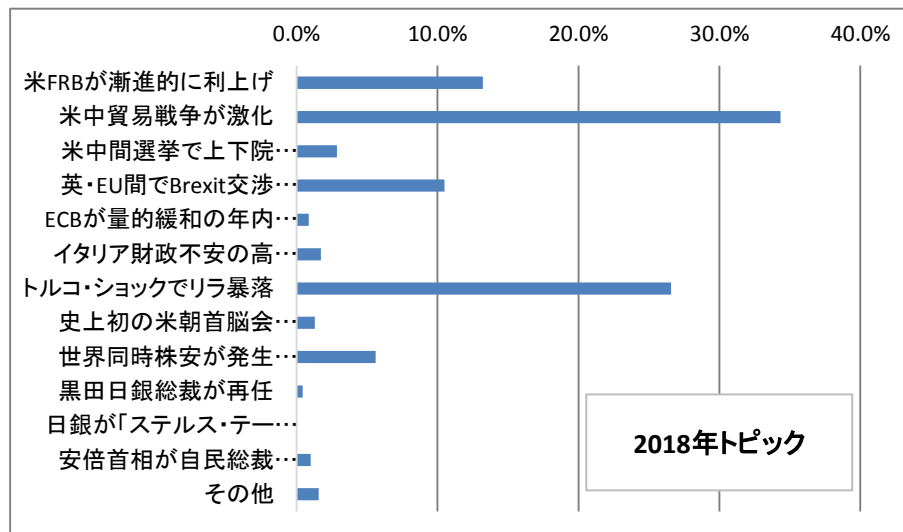


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問7: 2018年を代表する、為替市場へ影響を及ぼしたトピックとして、最もふさわしいと思われるのはどれでしょうか(ひとつだけ)

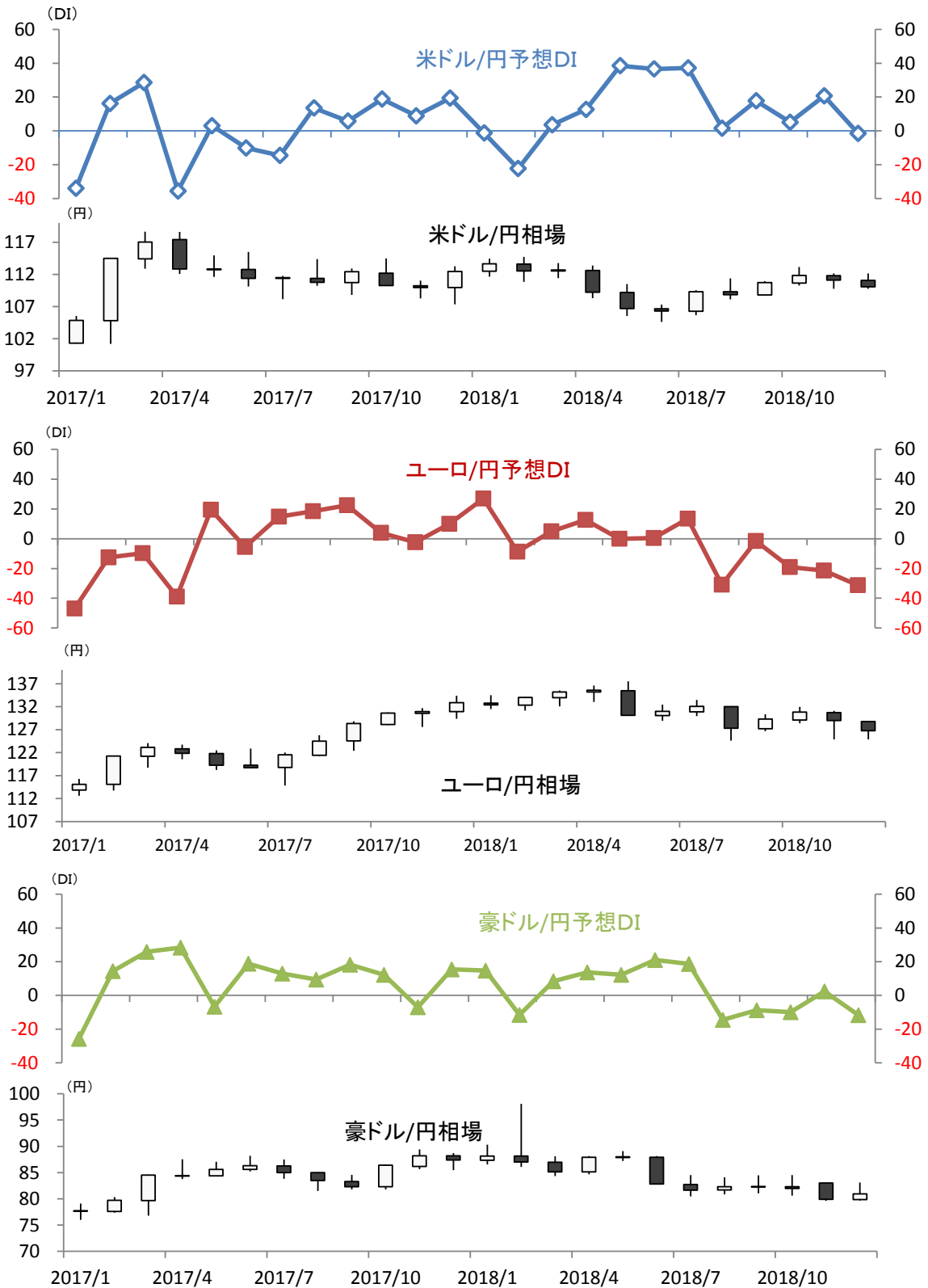
今回のもうひとつの特別質問として、「2018年を代表する、為替市場へ影響を及ぼしたトピックとして、最もふさわしいと思われるのはどれでしょうか(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「米中貿易戦争が激化」と答えた割合が34.3%と最も多かった。次いで「トルコ・ショックでリラ暴落(26.6%)」、「米FRBが漸進的に利上げ(13.2%)」、「英・EU間でBrexit交渉が難航(10.5%)」、「世界同時株安(2・10月)(5.6%)」、「米中間選挙で上下院ねじれ(2.9%)」、「その他(1.6%)」、「史上初の米朝首脳会談開催(1.3%)」、「安倍首相が自民総裁選3選(1.0%)」の順に続いた。2018年のドル/円相場に関しては、年間値幅が10円未満にとどまり、史上最低記録を更新しような動き(12月19日時点)となっている。このため「米中貿易戦争の激化」が大きく響かなかったようにも見えるが、豪ドル/円など一部のクロス円では比較的大きく円高が進んだ。今回の結果は、そうした円の強さは「米中貿易戦争の激化」によるところが大きかったという評価であろう。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第115回目となりました。調査開始から9年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めていきたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル/円			ユーロ/円			豪ドル/円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2017年	1月	35.2	54.0	-18.8	18.3	54.1	-35.8	28.9	35.5	-6.6
	2月	46.2	28.7	17.5	23.8	38.1	-14.3	41.9	23.1	18.8
	3月	53.3	24.7	28.6	27.6	37.4	-9.8	36.1	23.1	13.0
	4月	21.6	51.7	-35.5	17.7	56.6	-38.9	19.6	46.4	-26.8
	5月	38.4	35.3	3.1	45.9	26.5	19.4	34.9	27.0	7.9
	6月	33.3	43.4	-10.1	31.5	37.1	-5.6	33.7	25.7	8.0
	7月	30.7	45.2	-14.5	42.4	27.6	14.8	42.8	26.9	15.9
	8月	45.5	32.0	13.5	43.8	25.3	18.5	37.3	27.9	9.4
	9月	40.8	35.0	5.8	44.4	22.0	22.4	40.9	22.7	18.2
	10月	48.2	29.4	18.8	35.5	31.5	4.0	37.9	25.6	12.3
	11月	40.0	31.1	8.9	29.0	31.4	-2.4	26.9	33.8	-6.9
	12月	45.5	26.1	19.4	35.0	25.0	10.0	38.0	22.6	15.4
2018年	1月	38.0	39.2	-1.2	48.2	21.3	26.9	37.3	22.6	14.7
	2月	29.1	51.4	-22.3	30.1	38.9	-8.8	28.4	39.9	-11.5
	3月	39.6	36.0	3.6	34.0	29.0	5.0	38.6	30.2	8.4
	4月	42.8	30.1	12.7	37.9	25.3	12.6	39.0	25.3	13.7
	5月	57.4	18.9	38.5	30.3	30.3	0.0	34.9	22.6	12.3
	6月	55.5	18.9	36.6	33.0	32.5	0.5	39.5	18.4	21.1
	7月	58.1	20.9	37.2	37.9	24.3	13.5	40.3	21.6	18.7
	8月	37.3	35.7	1.6	22.1	53.1	-31.0	27.4	41.9	-14.5
	9月	42.6	24.8	17.8	30.4	31.9	-1.5	29.7	38.4	-8.7
	10月	40.4	35.3	5.1	24.3	43.3	-19.0	28.6	38.5	-9.9
	11月	46.8	26.1	20.7	23.7	45.1	-21.4	33.0	30.6	2.4
	12月	31.8	33.3	-1.5	16.7	48.0	-31.3	24.4	36.1	-11.7

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com